



自分のことを自分で考える子どもに育てるためには

園庭ではこいのぼりが気持ちよさそうに泳いでいます。入園、進級し、1か月がたちました。涙が出ていたお友だちも少しずつ保育園になれ、好きなあそびを見つけ始めているようです。

赤ちゃんたちも最初は遊ぶどころではなかったけれど、目の前のシャボン玉を見たり、園庭の葉っぱを手を持ってくしゃくしゃしたり、新聞紙をびりびりちぎったり、外からからさしこんでくる光が床にうつっているのを見つけたり、少しずつ周りのことに興味を持ち、笑顔が出始めています。そして保育士との信頼関係もでき始めています。安心する環境の中で赤ちゃんたちがあそびに満足することで、次の活動に移る、給食を食べる、お昼寝をするなどの生活の流れもスムーズにできるようになるのです。子どもたちは一人ひとり、個性も性格も、好きなあそび、興味関心も違います。その一人ひとりに合った関わりをしながら、好きなあそびを準備して、子どもたちと関わっているところです。

乳幼児期しっかりかわいがられ、何かを求めている時に求めているだけ思いを受け止め、応答的に関わってあげれば、大人に対する信頼感や安心感を持ち、自己肯定感が育まれ、普通の愛情で満足できる子になります。しかしそこを十分に満たしてあげないと、人の何倍も愛情を注がないといけなくなるのです。今忙しいからと、大人の都合で応じてあげなかったり、そのあそびを中断させてはいませんか。もちろん、どうしてもということはあると思います。そんな時には「わかったよ。でもね・・・」と話をし、時間が取れるようになったら応えてあげてください。愛情を求めている時に抱っこしてあげたり、欲求を満たしてあげる方が早く落ち着き、自分のやりたいことにも集中できる子になるのです。今やって欲しいことに応えてもらうこと、やっているあそびを十分満足することで、切り替

え機能、抑制機能も備わり、自分で考える、状況判断できる子になるのです。2歳までのしつけと環境が整っていると、3歳から自分で考えて行動できる子になると言われています。まずは、納得いくまで十分やらせていくこと、そして、「おもしろかったね」「不思議だね」とそばにいる大人が共感してあげることの積み重ねが大切です。そこができていないと、幼児になった時、集団のあそびのルールが守れなかったり、お友だちとうまく関われない子になってしまいます。共感してもらう事で相手の気持ちがわかる子になり、お友だちとコミュニケーションをとりながら、主体的に活動する子どもに育つのです。ご家庭でもご理解のうえ、実践してみてください。よろしくお願いいたします。

先日、ビオトープを開放しました。もちろん池の中でのあそびの約束など、年長さんを中心に考えていきました。話し合いの中で、「池の中の生き物は、網か手でとる」「砂場のおもちゃは入れない」「部屋に帰る時は、池に逃がしてあげる」などお約束ができました。小さいお友だちも池の中を覗くことは大好きです。砂場のおもちゃを投げ入れたり、砂を入れたり、いろんなことをします。池に落ちることもあるかもしれません。でもビオトープのあそびの中で、生き物に触れる、命の大切さを知る、時には落ちたり、足が濡れてしまったり失敗はあるとは思いますが、そばに大人がついて、しっかり見守っていきたいと思います。大好きなビオトープで、今しかできない経験をさせていきたいと考えています。年長さんに教えてもらいながら、異年齢の関わりを大切に、みんなで育ちあっていければと思います。自分のことを自分で考える子どもに育ちますよう、今年度もご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

くまの・みらい保育園 園長

廃材の回収のご協力
ありがとうございます



廃材のご協力ありがとうございます。
ご家庭より様々なものが届いております。クラスのコーナーあそびや、異年齢でのあそびの中で使わせてもらっています。
保護者の方も面白そうな廃材があると、「これあそびに使えるかも」と、持ってきていただき、子どもたちのあそびを思い浮かべながら、協力していただいていることに、感謝しています。
廃材は切ったり貼ったり物を作ったり、失敗しても何度でも気兼ねなく使えます。量もたっぷりあり、子どものあそびには、最適な保育材料です。今後ともご協力お願いします。

鯉のぼりのお話

鯉は古くから立身出世の象徴とされてきました。中国の故事、伝説から「黄河の上流にある龍門の急流をさかのぼることができた鯉は、龍になって天をかける」と言われ、出世のたとえに用いられるようになりました。日本において鯉が縁起物にされたのは、江戸時代中期とされています。五色の吹き流しは幼子の無事な成長を願って「魔除け」の意味で飾られるようになりました。

参照 ～こいのぼりと五色の吹き流しの話～

ビオトープ



これからどうなるこのあそび？



アトリエ



えのぐあそび

芝滑り



そら豆の皮むき



自然いっぱいの園庭、お部屋の中にも楽しいあそびをいっぱい準備しています。
身体を動かすことが大好き、考えることが大好き、人と交わることが大好きな子どもたち。
お友だちと一緒に、いろんなことに興味を持ち、毎日、考えたり工夫しながら、たくさん遊んでいきます。
あそびの中にたくさんの学びがありますように、日々子どもの発見や驚きに共感していきます。
ご家庭でもお子さんの話をしっかりきいてあげてくださいね